

おおみね進心



～ 美祢市立大嶺小学校 学校だより ～

8月25日の始業式(校長あいさつ)で

みなさんの **ことばづかい** がとても気になっています

・・・という話をさせていただきました。

学校は、人と人とのコミュニケーションの場であり、ことばを通して人間関係をつくり、仲間とともに様々なことを学び、未来に向けて“たくさんの経験”を積み重ねていく場です。

夏休みに充実した日々を過ごした子どもたちは、それぞれ成長した姿を見せていますが、1学期から気になっていた「ことばづかい」については、残念ながら十分に改善できておりません。教室からは、「その場面に決して適切だとは言えない言葉」が聞こえてくることがあります。児童の中には「いやな思い」をしている子もいます。そこで今回の学校だよりは、子どもたちの「ことばづかい」について特集します。

子どもたちから聞こえてくる“気になる”ことば

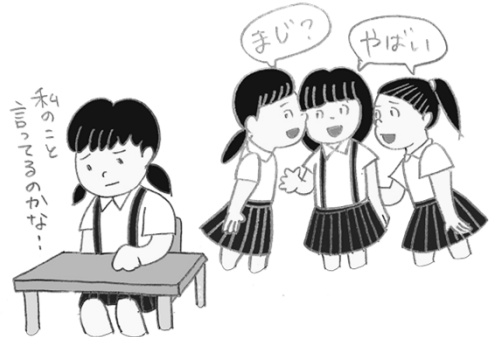
1

ひとよ
「人を呼ぶとき」のことば



2

きわる
「聞こえが悪い」ことば



3

ひと
「人をおとしめる」ことば



4

はんこう
「反抗するとき」のことば



★最近、子どもたちを取り巻く環境の変化が影響しているといわれていますが・・・

多くのことばは、親しい間柄の関係

「家族」・「友だち」・「兄弟・姉妹」

から得ています。

影響因子

・インターネット配信動画
・オンラインゲーム

で使われている言葉の影響も

◆場面に応じた「適切なことばづかい」ができないと・・・

▼相手を傷つけてしまうことがあります

▼相手から誤解されやすくなります

▼別の形で相手の関心を引くようなことがあります
(ことばではなく、たたいたり、意地悪をしたり・・・)



では、他の人に『進んでつたえる』(チャレンジ目標)には、どのようなことばづかいをすればいいの？



◆「適切ではないことば」を子どもたちが使ったとき、大人は・・・

過剰に反応せず、冷静に！
※「死ぬ」「殺す」などには強く注意



正しい言葉、正しい使い方を教える
子どもの目を見て対応する



学校で
家庭で
地域で



言葉の意味を認識させる
根気よく伝える
別の表現(ことば)を教える



大人が正しい言葉遣いを心がける
正しい言葉に触れる機会を増やす
直すことができたなら「褒める」

適切なことばづかいの習得を目指して、学校では

授業

において、



〇〇さんの意見に
付け加えが
あります

という呼び方への統一を進めていきます。
(時間をかけて、じっくり)

10月17日(火)
人権教育参観日
で「ことばの
使い方」について
取り上げます
(一部の学年)